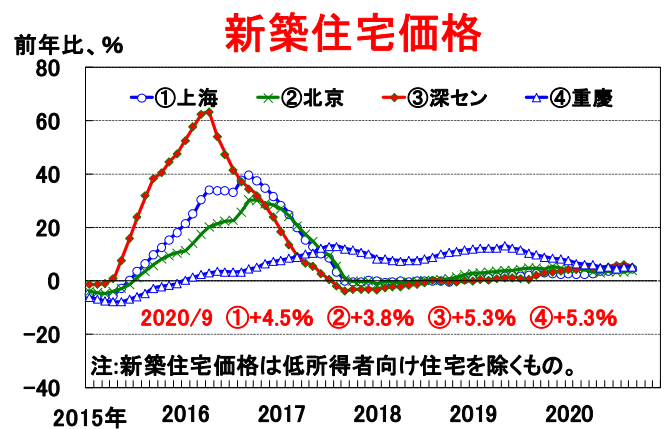
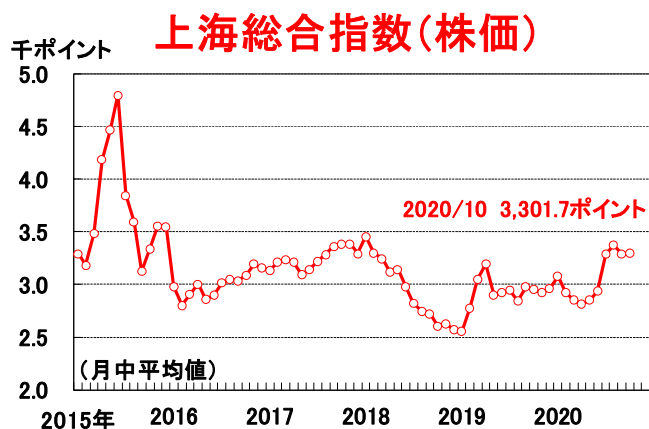
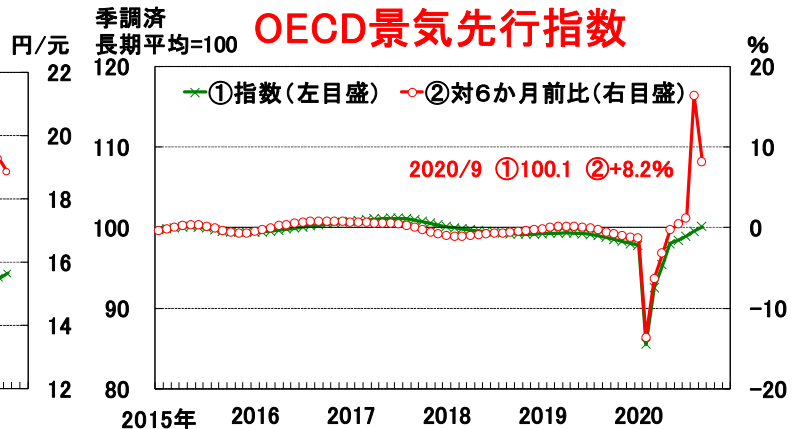
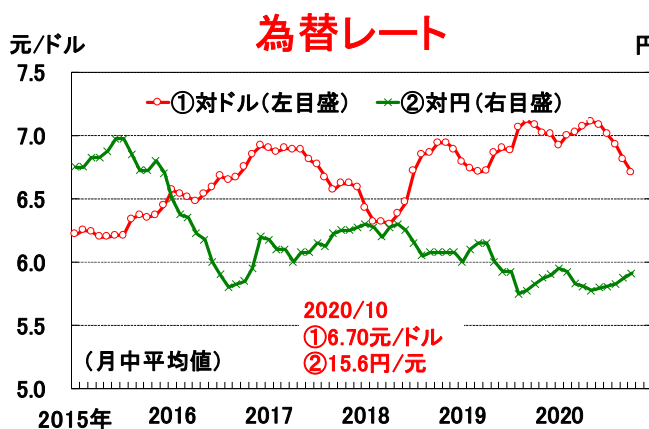
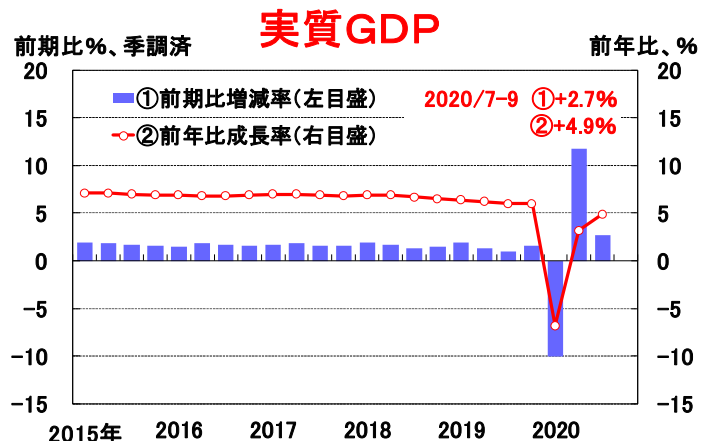
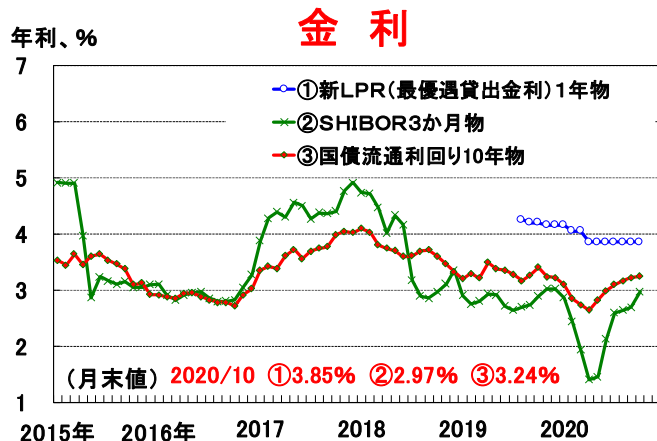
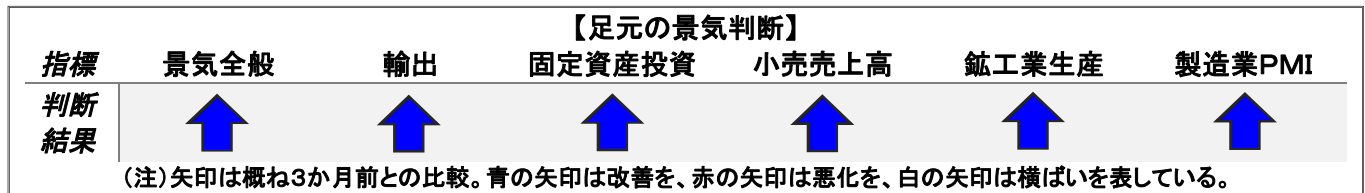


グラフで見る中国経済 2020年11月号(No. 138)

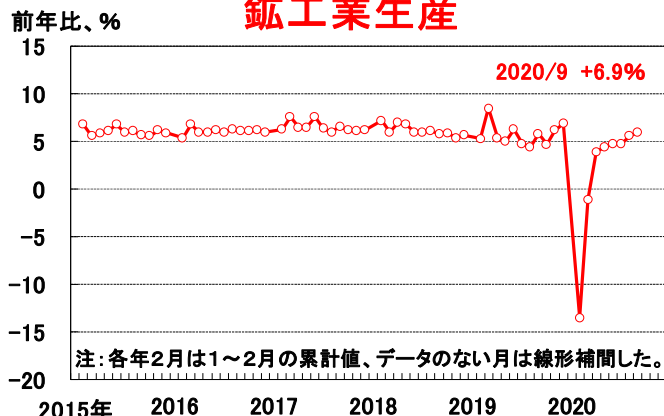
中国の2020年7～9月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+4.9%と、前期(同+3.2%)に比べてプラス幅が拡大した。7～9月期は、固定資産投資が前年比+8.0%と、習近平体制による財政出動や金融緩和の効果から加速した。一方、個人消費の動きを表す小売売上高は同期に同+0.9%と、三四半期ぶりに増加した。ただ中国国民の新型コロナ感染に対する警戒感が根強い為、小売売上高の伸びは依然コロナ流行前の水準を大きく下回っている。他方、同期の通関輸出は同+8.8%と、米国などの景気持ち直しを背景に復調した。



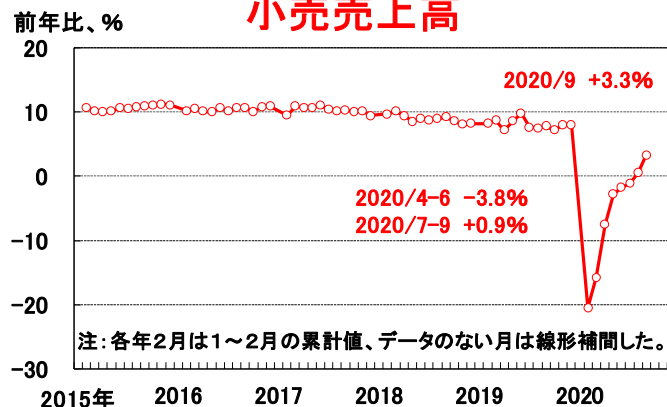
(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

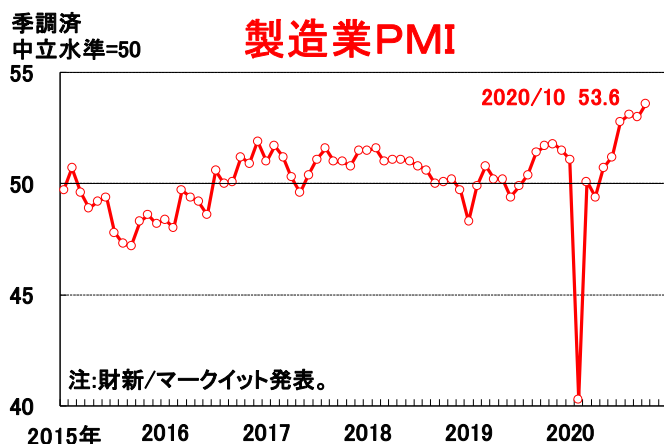
鉱工業生産



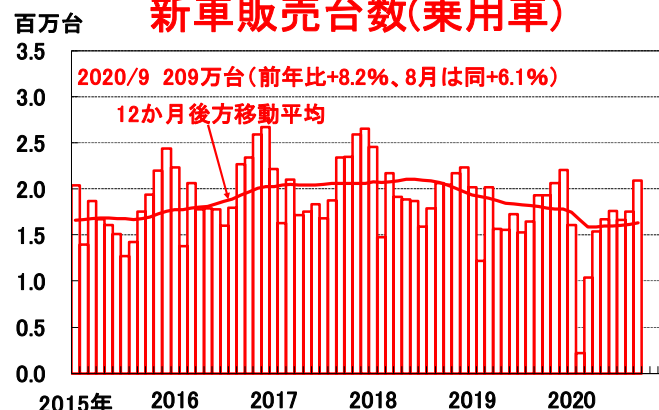
小売売上高



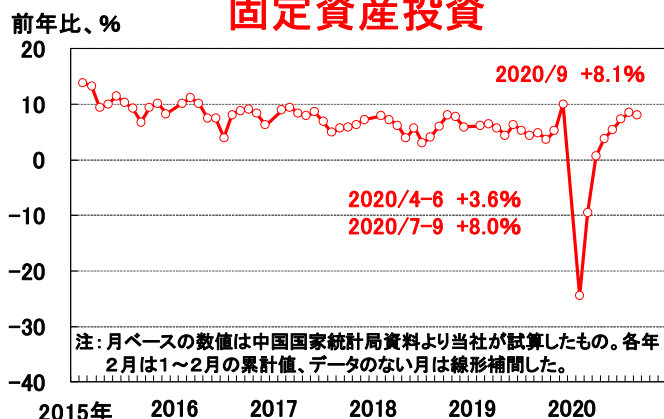
製造業PMI



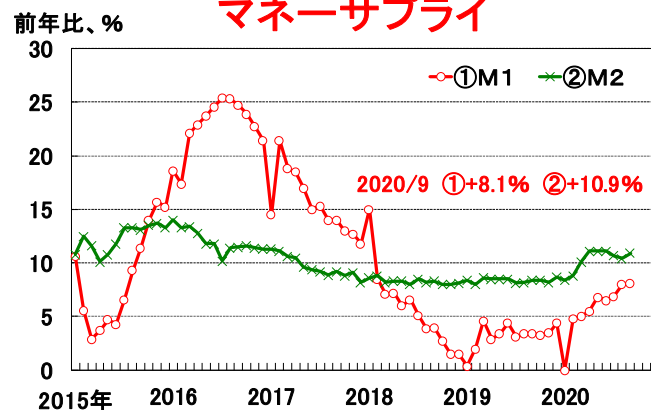
新車販売台数(乗用車)



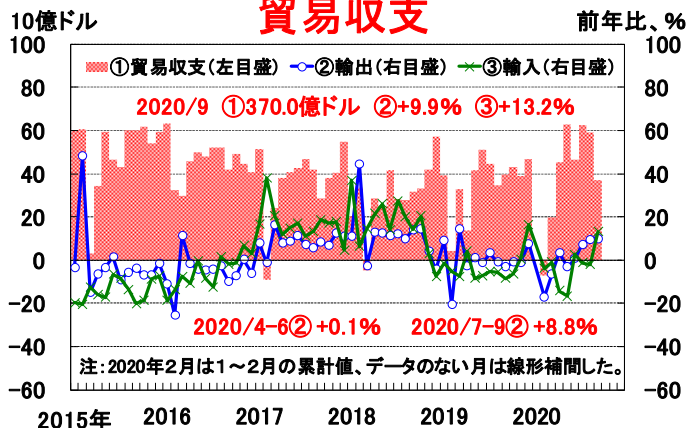
固定資産投資



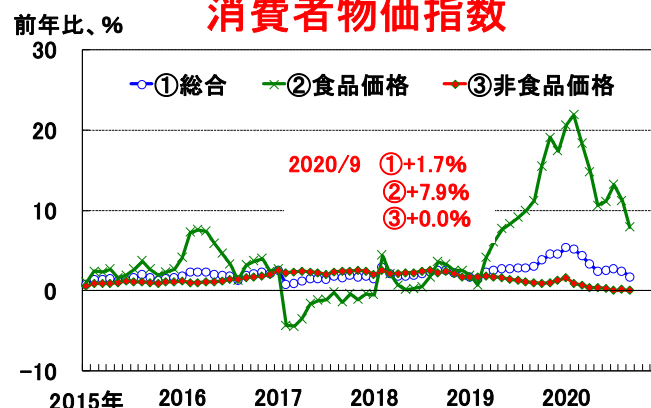
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。